

条例制定後の市の取り組み

◎産業振興条例施行（平成 25 年 4 月 1 日）

1 広報しろい「発見！白井の仕事人」での事業者紹介開始

（平成 25 年 4 月 1 日～）

【事業主体】 白井市

【内 容】 毎月広報紙 1 日号により連載記事で事業者を紹介。当初は商業者と工業者を隔月で紹介していたが平成 27 年度から農業者も加えて、毎月ローテーションで掲載。

【目 的】 市内事業者の取り組み P R や市民に市内の事業者や取り組み等の素晴らしさを知ってもらうこと。

2 暮らしなんでもお助け隊事業（平成 26 年 3 月～）

【事業主体】 白井市商工会（市との共同事業）

【内 容】 暮らしなんでもお助け隊に加盟する事業者により、食料品の配達や住宅、ライフラインに関わる修繕など日常生活を送るサービスを自宅訪問して実施する。

【目的・効果】 商工業の活性化、市民の利便性向上と安心なサービスの提供、高齢者や買い物弱者への対応など社会福祉の向上。

3 ふるさと産品推進事業の復活（平成 26 年 4 月 1 日～）

【事業主体】 白井市

【内 容】 市内で生産された農産物及び製造・加工された製品など郷土を象徴する特産品を、育成・定着させるために、ふるさと産品として認定し P R する。

【効 果】 ふるさと産品業者と連携し、ふるさとまつりやイベントなどに出店し P R 活動の幅が広がっている。

ふるさと産品の認定状況

平成 26 年度第 2 回審査会（平成 27 年 1 月 29 日）

・白井の梨のジュース・白井の梨濃縮飲料（遠山珈琲）

平成 27 年度第 1 回審査会（平成 27 年 12 月 16 日）

・白井梨ブランデーケーキ、白井の梨ゼリー、白井の梨コンポート（遠山珈琲）

平成 28 年度第 1 回審査会（平成 28 年 9 月 30 日）

・梨ジャム（ハタヤ）

平成 28 年度第 2 回審査会（平成 29 年 1 月 27 日）

・梨カステラ（J A 西印旛）

・白井の梨のジャム（遠山珈琲）

平成 29 年度第 1 回審査会（平成 30 年 1 月 30 日）

・極 JAPAN 鉄フライパンシリーズ

平成 30 年度第 2 回審査会（平成 31 年 1 月 23 日）

・梨粕 万能たれ

4 北総線内全駅でのふるさと産品ポスターの掲示による P R

【事業主体】白井市

【内 容】農政班による梨の P R と併せ、北総線全駅（京成高砂～印旛日本医大までの 14 駅構内においてポスターを掲示し P R。

【効 果】北総線利用者に白井市ふるさと産品の P R ができた。

【実 施 日】平成 26 年 8 月 4 日～9 月 3 日

平成 27 年 8 月 3 日～9 月 2 日

平成 28 年 8 月 22 日～9 月 23 日

※以後毎年同時期実施

5 白井産梨販売状況調査

【事業主体】白井市

【目 的】白井産梨の都内や県内の販売状況を調査し、認知度・ブランド力を調査し、実態の把握と今後の P R 活動の参考とする。

【結 果】関東広域的には一部を除きまだ認知度は弱い、県内の販売担当者では、別格と認識していた販売担当者も多かった。
しかし、消費者には市川産や船橋産の認知度が高いようで、都内のデパートでは千葉産として販売している店舗もある。

【実 施 日】平成 26 年 8 月 28 日～9 月 1 日

6 街コン事業（オミパ de 白井）の協力

【実施主体】白井コミュニティセンター（共催 白井市、白井市商工会）

【目 的】出会いとふれあいの場を提供することにより、商工振興とふるさと意識の向上を図る。

【内 容】市内業者提供の軽食・アフタヌーンティーを楽しみながらのお見合いパーティーで市内の事業者・産品を知ってもらう。

【実 施 日】平成 25 年 8 月 17 日（土）

※以後年 1 回開催

7 千葉県よろず支援拠点サテライト相談所の開設（平成 27 年 2 月～）

【実業主体】千葉県産業振興センター

【内 容】白井工業団地産業振興センターで経営に関するワンストップ相談を予約により実施。現在、3 か月に 1 度開催

8 ふるさと納税開始（平成27年3月～）

【事業主体】白井市

【目的】ふるさと意識の向上を図るとともに、税収確保と市内の産業を振興させるため。

【内容】インセンティブを図るふるさと納税返礼品にふるさと産品等を活用している

ふるさと納税返礼品（現在全51品目）

梨関連が7品目、ふるさと産品認定品活用は現在21品目（なし、自然薯、大どら外の和菓子、梨ブランデーケーキ外の洋菓子、梨ゼリー、珈琲、鉄フライパン）

9 白井工業団地アクセス道路の整備（平成27年4月～）

【事業主体】白井市

【内容】白井工業団地の物流等の活性化を図るため、国道16号から大型車両が通行できるように、白井工業団地へアクセス道路整備を実施する。

【現状】用地買収中

10 白井フェミナスの開催（平成27年6月～）

【実施主体】白井市フェミナスハートプラス実行委員会

共催 市、教育委員会、白井市青少年女性センター、桜台センター

【内容】女性を応援するためのイベントで基調講演のほか子育て応援、カフェや起業コーナーなどを設置した女性のためのイベントを開催。

【実施日】平成27年6月13日（土）

※以後年1回開催

11 プレミアム商品券事業の実施（平成27年度）

【実施主体】なし坊プレミアム商品券実行委員会（商工会、市ほか）

【内容】10,000円で13,000円分の商品券を25,000冊発行し、市内の消費喚起と暮らしの応援を図った。

【実施期間】平成27年7月1日（水）～平成27年12月31日（木）

【効果】最終的に3億2千5百万円の経済効果と市民の暮らしの応援を図ることができる。

1 2 地元の新鮮野菜等の移動販売を開始（平成 27 年 8 月～）

【実施主体】 J A 西印旛農産物直売所「やおばあく」

【内 容】 国からの「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、市と連携して農業者の売上げ向上と地産地消を推進するため、地元の農産物の移動販売を実施。

1 3 市内の各金融機関との地域経済に関する連携協定締結

【実施主体】 市、千葉銀行・京葉銀行・千葉興業銀行・千葉信用金庫

【締結日】 平成 27 年 9 月 17 日

【内 容】 地域経済交流、企業立地支援、地産地消、創業支援等、地域経済に関する協定を締結し、連携、協力、情報交換を図る。

1 4 しろい梨駅前 P R イベントの開催（エキなし）

【実施主体】 しろい梨 P R 委員会（若手梨農家 15 軒）

【内 容】 出荷開始直後のしろいの梨をいち早く市民に知ってもらうため、販売、試食を通じて消費者との交流を図り、消費者ニーズを把握する。

【実 施 日】 平成 27 年 8 月 5 日（水）
平成 28 年 8 月 5 日（金）
※以後毎年同時期に開催

1 5 白井梨の海外での販売

【実施主体】 梨業組合、JA 西印旛、白井市 協力 千葉銀行ほか

【内 容】 新たな販路拡大と白井産梨を国内外に P R するため、白井市梨業組合が海外で白井産梨の販売、P R を行う。またこの販売により、今後販売戦略の上で、海外でも販売している梨ということをも P R 手法に活用する。

【実施年】

モンゴル 平成 27 年～平成 29 年
タイ 平成 24 年～（継続中）

1 6 ときめきマルシェの開催

【実施主体】 ときめきマルシェプロジェクト

【内 容】 買い物、イベント参加、生産者や出店者、家族や若い世代同士のコミュニケーションの場を提供し、賑わいや交流の場を創出する。

【実施日】 平成 27 年 9 月 13 日（日）
平成 28 年 5 月 14 日（日）

平成 28 年 10 月 29 日（日）

※以後毎年開催

1 7 なし育苗センターの開設（平成 2 8 年 3 月 3 0 日）

※国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した施設。

【事業主体】白井市梨業組合

【内 容】梨の苗木を共同育成し、大苗になった時点で希望者に提供することで、梨農家の改植に係る負担を大きく低減し、梨園の若返りや改植作業の効率化、促進につなげ生産量の安定や後継者・担い手の育成確保を支援する

1 8 しろい工業団地 PR・地方創生活活性化事業の実施

国の「地方創生加速化交付金」を利用した動画 HP 作成他による PR。

【実施主体】白井市 工業団地協議会 事業者

【内 容】

- ・産業交流展（東京ビックサイト）参加（平成 28 年 10 月 31 日～11 月 2 日）
- ・工業団地ホームページリニューアル（平成 28 年 10 月 31 日※更新継続中）
- ・就職マッチングイベントの開催（平成 28 年 11 月 19 日）
- ・工業団地フェスティバル・企業見学ツアー・産学官・異業種交流・意見交換会等の開催（平成 28 年 12 月 2 日）
- ・キャリア教育（平成 29 年 2 月 16 日・17 日・20 日）

【実 施 日】平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 29 年 3 月 31 日

1 9 白井ふるさと産品広域アピール

【実施主体】白井市 事業者

【内 容】

- ・県民の日ちばワクワクフェスタ（平成 30 年 6 月 10 日・幕張メッセ）
梨ジャムほか
- ・まだあ～るちば白井物産展（平成 30 年 9 月 15 日・千葉市中央区ツインビル）
珈琲おこし、珈琲ブランデーケーキ、白井の梨ほか
- ・中山競馬白井特別競走（平成 30 年 9 月 17 日・船橋市中山競馬場）
珈琲、梨ジュース、梨ジャム、白井の梨ほか
- ・千葉県アンテナショップ「ちば I・C H I・B A」（平成 30 年 12 月 1 日・東京都千代田区 KITTE）
しろいの自然薯、しろいの梨ジャム等販売 P R

※以後毎年出展

2 0 創業支援事業計画策定

【実施主体】市・商工会・千葉県信用保証協会等

【認定日】平成 29 年 12 月 25 日

【管 轄】経済産業省

【内 容】創業支援を図るため、市で計画策定し、国の認定を受けて、商工会や市内の金融機関などとの連携・協力のネットワークを構築し、地域の各強みを生かし、創業支援、育成を図る。

2 1 生産性向上特別措置法に係る中小企業設備投資支援

【実施主体】市

【国の同意日】平成 30 年 7 月 2 日

【管 轄】経済産業省

【内 容】国で推進する生産性革命を図るため、生産性向上特別措置法に基づく中小企業設備投資支援を図るため、市で「導入促進計画」を策定し、国の同意を受けたことで、市内の全産業事業者を対象に、事業者で策定する「先端設備等導入計画」の認定を市で行い、3 年間の新設備に係る償却資産を 3 年間ゼロとするほか、ものづくり補助金等の加算対象とされることにより、設備投資支援を図る。

2 2 商業施設等立地奨励金制度創設

【実施主体】市

【条例名称】白井市商業施設等誘致促進条例

【施行日】平成 31 年 4 月 1 日

【内 容】都市マスタープランに基づく「公益的施設誘導地区」内の商業施設、物流施設などの立地、開発を促進させるため、県内はじめての制度となる開発者に開発区域内の固定資産税相当額を奨励金として交付する制度を創設。

2 3 白井市プレミアム付商品券事業

【実施主体】市・白井市プレミアム商品券事業実行委員会（商工会内）

【内 容】1 冊 4,000 円で 5,000 円分の商品券を対象者 1 人 5 冊まで、最大で 25,000 円分の商品券を発行する。

消費増税の影響緩和策として消費の下支えすることを目的に実施され、非課税者、3 歳未満の子育て世帯の世帯主が対象となる。

【実施期間】令和元年 10 月 1 日（火）～令和 2 年 2 月 29 日（土）

【効 果】最大で 2 億 2 千 5 百万円の経済効果と市民の暮らしの応

援を図ることができる。

【農産物ブランド化推進事業】

2 4 市民プール敷地内農産物物販施設「やおぷうる」の設置及び農産物販売（平成 2 9 ・ 3 0 年度）

平成 2 9 年度に市内最大の集客を誇る市民プール内に農産物直売施設を設置し、平成 3 0 年度より梨その他の農産物の PR 販売を開始した。

また、農産物 P R チラシ類や観光案内パンフレット等を配架し、市内周遊の促進を図っている。

2 5 歌舞伎座木挽町広場における梨 P R 販売（平成 3 0 年度）

歌舞伎社会のことを梨園と称することから、味が日本一であると標榜する「しろいの梨」と「梨園」をマッチングさせ、白井市梨業組合が平成 3 0 年 8 月の 1 か月間販売を実施した。

2 6 しろいの梨ポータルサイト開設支援（平成 3 0 年度）

生産者も消費者に農産物の生育状況や販売時期などについてネットで情報発信を求められるようになり、内容によっては高い宣伝効果が得られるため、白井市梨業組合及びしろい梨観光組合が平成 3 0 年にしろいの梨を P R するホームページを開設し、市は開設費用の補助を行った。

2 7 農産物直売所マップ作成（平成 3 0 年度）

市内産農産物の PR を行うため、農産物直売所マップを作成し、市内各所で配布する。

2 8 しろいの梨ブランド化推進計画策定（平成 3 0 年度）

「しろいの梨」のブランド化を図るため、今までに多種イベント等 P R を実施してきたが、単発的な行事で一貫性がなく、現在のブランド力の消費者への周知度が不明な状況であったことから、しろいの梨の現在のブランド力調査やしろいの梨の強みを明確化するとともに今後のブランド化の方向性を定める計画を策定した。今後は当計画に基づき梨農家・梨関係団体・市の意思及び方針の統一を図るとともに、各機関の役割を明確化し、ブランド力強化を推進する